

2023  
3  
No.165

# 喜多方普及だより

## 西会津町鳥獣被害対策の紹介

### みんなで鳥獣被害対策「自分の畑は自分で守る！」



西会津町は、平成15年頃からニホンザルによる農作物被害が拡大したため、平成18年に西会津町ニホンザル保護管理事業計画を策定し、会津農林事務所管内の市町村でいち早く町独自の被害防止対策を進めてきました。

鳥獣被害防止特措法が施行された平成19年には、即座に対策協議会を設置し、防止計画を策定、実施隊の組織化や集落を単位として「自分の畑は自分で守る」を目標に、緩衝帯整備、環境診断、放任果樹伐採などの捕獲のみに頼らない対策を進めてきました。

対策の実施にあたっては、人材育成に重点を置くため、平成30年より鳥獣被害対策専門員を設置し、集落自らが一体となった対策が展開できるよう、住民に寄り添った支援を進めてきました。その結果、住民自らが対策の検証と改善を積極的に行うようになり、プロセスを踏まえた持続的活動に繋がっています。

西会津町ではデジタル戦略の一環として令和4年1月からLINEを活用した鳥獣の目撃情報の集約・蓄積をはじめ、そのデータを行政と住民が共有することで、鳥獣被害対策を強化しています。また、捕獲鳥獣の処理負担を軽減するため、解体処理施設を整備し、厄介な鳥獣被害対策から地域資源として有効活用し、地域活性化に繋げようとしています。

町が住民と共に鳥獣被害の課題に取り組み、住民主体の対策を進め、確実に前進している西会津町の鳥獣被害対策への取り組みに敬意を表します。当所では、引き続き町や鳥獣被害対策専門員と連携し、農作物被害対策と農作物の安定生産に向けた支援を行ってまいります。



電気柵説明会



電気柵設置講習会



ニホンザルの個体数調査



# 今年度の普及

## 令和4年度第2回普及推進懇談会を開催しました！

本会は農業普及指導活動等に対する農業者や有識者、関係機関の意見・要望等を反映させ、効率的な活動を実施するため年2回開催しています。今年度の第2回目は、令和4年度が普及指導計画の中間見直しにあたるため、委員の皆さまの御意見・御要望を早期にお伺いするため、例年2月開催の本会を前倒し12月19日(月)に開催しました。懇談会では、これまでの進捗状況・評価、及び今後の活動予定、次年度活動の展開内容(案)について説明し、また、「担い手の育成・確保」及び「水田利活用による畑作物・園芸品目の導入」等について意見交換しました。

3月には、今回の出席者等からの御意見・御要望等を踏まえ作成した令和5年度普及指導計画(案)の内容についても書面で御意見を頂く予定です。



第2回普及推進懇談会

## 水田の利活用を考える！「契約野菜産地育成 地域モデルセミナー」が開催されました！

2月9日に喜多方プラザ文化センターにおいて、福島県園芸課主催の「契約野菜産地育成 地域モデルセミナー」が開催されました。喜多方地域は全国有数の米どころですが、水田活用による所得確保を目的とした土地利用型野菜導入に焦点を充て、栃木県の取組や農機具メーカーによる事例が紹介され、喜多方農業普及所からは水田利活用の一環として、麦・大豆の情報提供を行いました。

米の需要は年々落ち込み、主食用米の価格が大きく下落したことで、ここ数年は農業経営にとって非常に厳しい局面を迎えました。このため、市町村やJA等とともに飼料用米を中心とした新規需要米や麦・大豆への転換を推進してきました。

しかし、その収入源の殆どが国からの交付金であるため、収益性の高い作物への転換による自立した所得確保が課題となってきています。

参加者は、栃木県における「ねぎ」や「たまねぎ」、「さつまいも」等の産地事例やヤンマーアグリ株式会社からの野菜用機械の開発や課題の報告等に、新たな農業経営展開の可能性を考えながら、熱心に耳を傾けていました。



有賀技師による情報提供

## 第3回新規就農者等研修会を開催しました！

会津地域では、キュウリ、アスパラガスの栽培が盛んに行われており、品質・収量低下の原因となる病害虫(べと病、茎枯病、ハダニ類、アザミウマ類等)の防除が大きな課題となっています。会津農林事務所管内で計6回行われるうちの第3回目となる研修会では、福島県植物防疫協会の草野憲二氏に病害虫の生態や防除方法について講演をしていただき、新規就農者の病害虫防除に関する理解を深めました。

また、当普及所の野口技師より事故の発生状況や機械別のリスクについて情報提供を行い、注意点について広く理解してもらいました。



草野憲二氏による講演



# 活動の紹介

## 第2回フレッシュ農業講座を開催しました ～開け、農業の扉 若い力が輝く農業～

耶麻農業高校1、2年生約30名を対象に就農についての興味をより高めてもらうため、地域若手農業者を講師に講演会を開催しました。講師には自営就農でアスパラガス栽培に新規参入された田中圭氏、農業短期大学校を卒業後、経営開始に向けて喜多方市の農業法人で研修を受けている須藤裕樹氏、親元就農し、繁殖牛と水稻の複合経営に取り組んでいる日下健吾氏の3名をお迎えし、それぞれの就農までの経緯や農業経営についてお話をいただきました。生徒の皆さんは授業とは一味違った内容を熱心に傾聴していました。生徒の皆さんに農業を職業とすることの魅力を伝えることで、自分が農業従事者になったときのイメージをより良いものにすることができ、希望進路として独立就農や雇用就農を選択肢の1つにするなど、進路の幅を広げてもらうことができました。



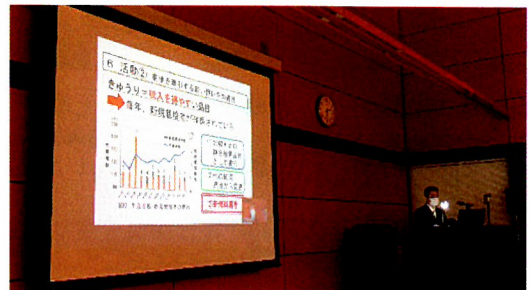
田中圭氏による講演

## 福島県農業普及指導活動成果発表会で発表しました！

令和4年1月26日、福島県及び県農業改良普及職員協議会主催の農業普及指導活動成果発表会が行われました。発表会では、地域農業をけん引する担い手の確保・育成支援やスマート農業技術の積極的な導入による産地の発展支援、東日本大震災からの復興・再生の取り組み等、多様な普及活動の成果が県内各農林事務所の代表14名から紹介されました。

当普及所からは経営支援課の佐々木技師が「管内きゅうり産地強化に向けた喜多方普及所の歩み」と題して、持続可能なきゅうり産地づくりを目的に、耐病性品種の導入による褐斑病の克服と産地をけん引する若い担い手の育成を重点活動とした平成20年から現在までの取り組みと成果について発表しました。

引き続き、さらなる産地発展、持続可能な産地づくりに向けた普及活動を展開して参ります。



佐々木技師による発表

## 酒米「福乃香」のPRイベントが開催されました！

喜多方地域は全国有数の日本酒の産地で酒米生産が盛んに行われています。今年は酒米の作柄も良好で、各蔵元では新酒の出荷時期を迎えています。

喜多方地域「福乃香」現地実証栽培研究会は、「福乃香」等の県オリジナル品種による高品質安定酒米生産を目指して昨年夏に設立されました。これまで生育や収量品質の調査に加え、現地検討会の開催による会員の技術研鑽を図ってきました。去る12月3～4日には、都内の日本橋ふくしま館（ミデッテ）に出店し、「福乃香」原料の新酒のPRを行いました。イベントは好評で、店頭では多くの来店者が説明や試飲に足を止め買い求めています。研究会は酒米生産振興に手応えを感じ、今後の活動の弾みになる取り組みとなりました。



福乃香研究会の皆様（ミデッテ店頭にて）



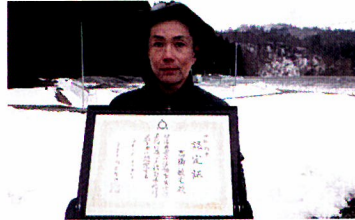
## 新しい指導農業士さんを紹介します

指導農業士は、自ら優れた農業経営を行い、その農業経営を通じて農村青少年の育成に指導的な役割を果たしていただく農業者を福島県が認定する制度で、令和5年1月、当管内からは2名の方が新規認定となりました。

高橋敏生さんは、J A会津よつばの組織活動歴が長く、地区グリーンアスパラガス産地のリーダー的存在で、人望も厚く周囲からも期待される存在です。橋谷田淳さんは、法人経営の代表として、資源循環型農業を実践され、米の食味コンテストでは数々の入賞歴もあり、地域農業の中核的な担い手となっております。

### 謝辞

福島県指導農業士として、御活躍されました喜多方市山都町の山口 比佐男さん（平成23年度認定）と西会津町野沢の江川 誠作さん（平成18年度認定）が、今年度退任されました。長い間御尽力いただき、深く感謝申し上げます。今後とも、地域農業発展に御支援をお願いいたします。



たかはし としなり  
高橋 敏生さん(喜多方市山都町)  
〔経営類型〕  
水稻+野菜(アスパラガス)+そば



はしやだ あつし  
橋谷田 淳さん(西会津町野沢)  
〔経営類型〕  
水稻+そば+米集荷及び販売

## ●●● 福島県GAPを取得しました! ●●●



まんぶく農園  
みちとし  
(大竹紀蔵さん)  
品目：水稻



株式会社みなもと農園  
(田代かよ子さん)  
品目：きゅうり、しいたけ



安藤直輝さん  
品目：水稻

令和4年度、喜多方普及所管内では、ふくしま県GAP（通称、FGAP）を新たに3名の方が取得されました。認証取得を契機に、認証を取得された皆様の経営発展を期待しております。

GAPは、異物混入や農作業事故など、農業経営における「危険」を事前に洗い出し、対策を講じることで、持続的に営農を続けるための手法になります。今後の営農に向け、日々の記録や事故発生時の対応など、できることから初めてみましょう。

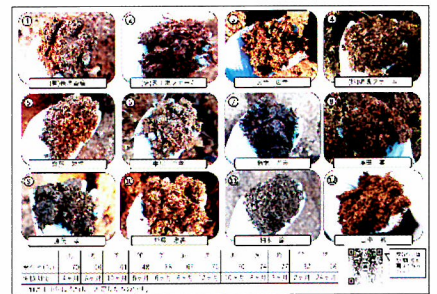
## 「喜多方地域堆肥マップ」を更新しました!

近年、化学肥料の価格が高騰していますが、堆肥を有効活用することで生産コストを低減させることが可能です。

さらなる堆肥の利用拡大推進を図るため、平成31年2月に作成した「喜多方地域堆肥供給者リスト」を令和5年3月に「喜多方地域堆肥マップ」へ更新しました。更新内容については以下のとおりです。

- 堆肥写真の掲載
- 価格等、詳細情報の更新
- 喜多方農業普及所HPに堆肥の動画及び成分分析値を掲載

※堆肥の動画や成分分析値は右記二次元コード又は下記URL (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36242a/kitakata5.html>) からご覧ください。



喜多方地域堆肥マップ



～ 内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ～

会津農林事務所 喜多方農業普及所  
 住所 〒966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3  
 電話 0241-24-5743、5745 FAX 24-5746 E-mail kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp  
 ホームページ

